



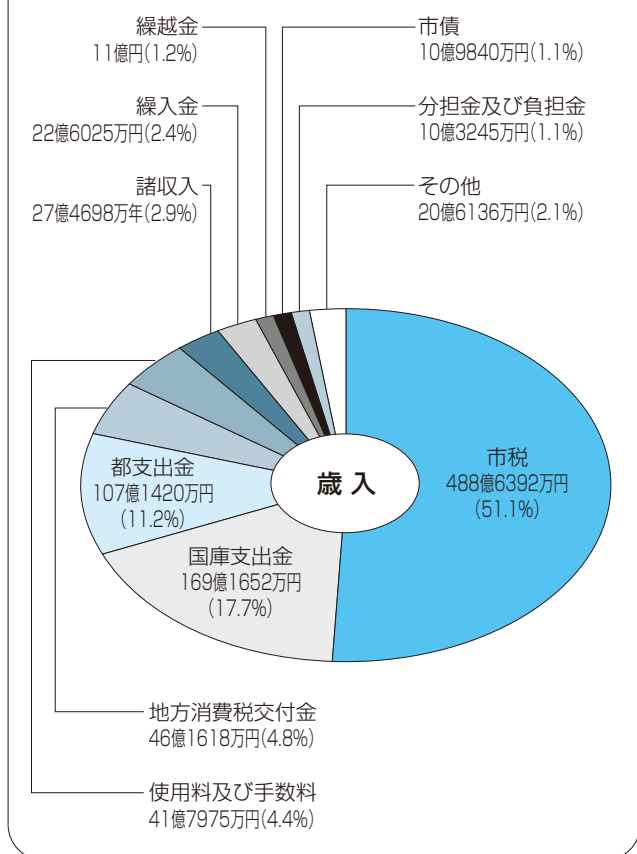
## 【平成30年府中市議会第1回定例会】報告

2月19日(月)～3月15日(木)の25日間の会期で平成30年第1回府中市議会定例会(3月議会)が開催されました。本定例会では平成30年度の一般会計予算等が審議されました。

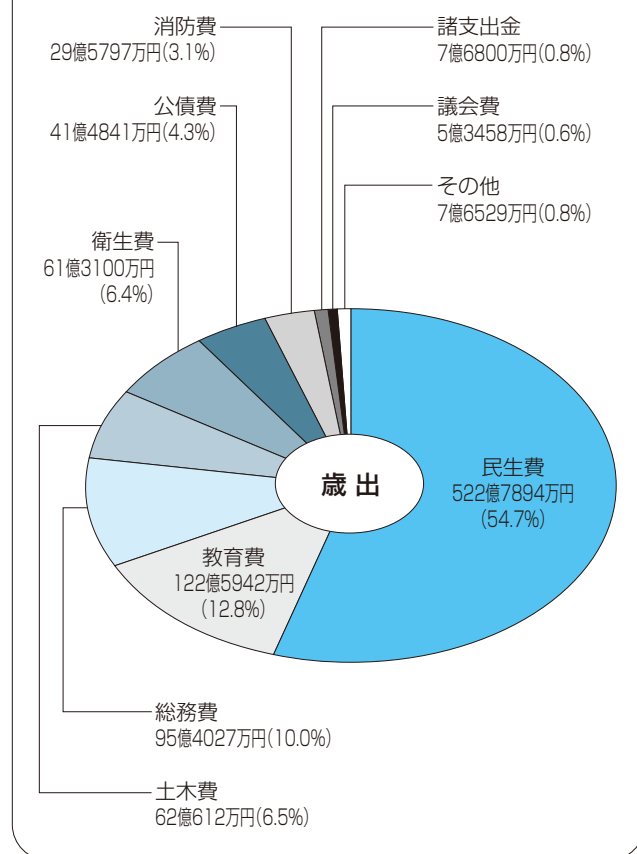
また、一般質問は23人31件が発言されました。

### 平成30年度一般会計予算特別委員会

#### 歳入 / 955億9千万円



#### 歳出 / 955億9千万円



### 平成30年度一般会計予算規模

歳入では、ふるさと納税の影響などにより市税が減となっているほか、税制改正により、地方消費税交付金が減となりました。また、投資的経費の減に伴い、繰

入金や市債が減となりました。歳出では、扶助費などの社会保障関係経費や学校給食費の公会計化に伴い、増となる一方で、府中駅南口再開発事業や給食センター新築事業の完了に伴い、投資的経費が減となり、予算額は955億9000万円(△8.6%)となりました。

## 平成30年度予算編成における特徴

平成30年度は、市税においてふるさと納税等の影響により、前年度と比較して約3億円の減収、各種交付金等において地方消費税交付金の税制改正等の影響により、前年度と比較して約6億円の減収を見込んでいます。また、競走事業からの収益事業収入は売上げの増などにより8億円の増収を見込んでいます。

こうしたなか、平成30年度は、第6次府中市総合計画前期基本計画におけるまちづくりの成果を引き継ぎながら、後期基本計画による新たなスタートを着実なものとするとともに、目前に迫るラグビーワールドカップやオリンピック・パラリンピックの開催を、まちの発展や魅力発信のチャンスと捉え、様々な施策や

事業を積極的に展開し、「みんなで創る笑顔あふれる住みよいまち」の実現に向け、市民との協働のもと、様々な施策を展開していく必要があります。

当初予算編成に当たっては、誰もが安心して笑顔で元気に過ごすため、地域の「安全」と市民の「健康」に関する施策、ふるさと府中への愛着を深めるとともに、ラグビーワールドカップ2019や東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に向けまちへの「愛着」と「おもてなし」に関する施策、地域におけるつながりや支えあう仕組みづくりをさらに発展させるため、市民との「対話」と「協働」に関する施策を充実させていきます。また、次代を担う子どもたちの健やかな育ちと学びを支えるための環境整備を進めます。

## 所属委員会報告

### 総務委員会

付議事件議案6件、陳情1件が審議された。議案では、府中市議会議員及び府中市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例などが審議され、いずれも可決された。また、陳情ではグリーンプラザ問題についての陳情が審議されたが、回答の可否について不明点があり、議会に求める事項ではないことから不採択とした。

### 議会運営委員会

付議事件陳情1件、議会改革についての陳情が審議された。議員間討議について議論し、議会改革検討委員

会は超党派の代表が出席し真摯に討議していることから全員を以って開催する議員間討議の必要はないと発言した。結果、挙手多数により不採択となった。

### 再開発対策特別委員会

再開発対策について、府中駅南口第一地区の組合の活動状況の報告、審議がされた。

特にル・シーニュー東側の段差解消について意見が出され、今後、組合負担の中で改修工事を進めていく予定であることを確認した。また、再開発対策特別委員会は、今年度ですべての審査、調査が完了したことから、今後は、各常任委員会での報告とし、委員会を終結することになった。

## 地域活動等

宮町中央通り南側の新宿公園入口付近の街路灯が点灯していないとの住民要望を受け、故障していることが判明し、管理課に連絡したところ器具交換ならびに電球交換をしていただいた。▶



▲是政6丁目の街路灯の球切れがあると住民要望があり、管理課に連絡し電球交換をしていただいた。

## ラグビーワールドカップ、オリンピック・パラリンピックに向けた キャンプ地誘致活動の取り組み状況について

- Q** (1)これまでのキャンプ地誘致活動の取り組みについて  
(2)キャンプ地誘致活動が、現在、どのような状況か  
(3)今後、どのような活動を進めていくのか

**A** 【市長答弁】  
(2)の「キャンプ地誘致活動に関する現在の状況」及び(3)の「今後の活動」について、一括してお答えする。

本市では、ラグビーワールドカップ2019及び東京2020オリンピック・パラリンピックという世界的規模のスポーツイベントが2年続けて本市近隣で行われることを、まちの更なる発展に向けた絶好の機会と捉え、キャンプ地の誘致に取り組んでいる。

ラグビーワールドカップについては、公認チームキャンプ地に立候補し、昨年12月にイングランド代表、本年1月にはフランス代表の実地視察を受け入れ、その際に私も立ち会い、挨拶をする機会をいただいた。また、2月19日にはアルゼンチン代表の視察を受け入れた。ラグビーのキャンプ地誘致活動は、東京2020オリンピックにおける7人制ラグビーの事前キャンプの誘致も含めて進めている。

東京2020オリンピック・パラリンピックについては、野球では、先月、オーストラリア野球連盟との間で、多摩地域では初となる事前キャンプに関する覚書を締結し、本年から3か年に渡ってサポートすることになった。また、卓球も友好都市ウィーン市ヘルナルス区の協力を得て、オーストラリア卓球連盟のキャンプの実施に向けて、視察の受入れに関する協議を進めている。

今後も、ラグビーを含め、各競技のキャンプが決定した際には、まずは各国の選手達に満足していただける環境を整えるなど、受入れに向けた準備を進める。

キャンプ地として高い評価をいただくことで、本市を世界にPRし、更なる知名度の向上へとつなげるため、広く市民の皆様とともに、最大限の「おもてなし」を行うための取組を進める。なお、歓迎レセプションをはじめとした選手と市民との交流、特に競技指導などでの交流については、府

中の将来を担う子どもたちに夢と希望を与える場として、積極的にその機会を創出してまいりたい。

そして、これらの取組を着実に進めることで世界的規模の二大スポーツイベントのキャンプがこの府中で実施されたということをも市民の皆様への誇りとしていただき、さらには「ふるさと府中」に対する愛着を深めていただけるよう努める。



### 【担当部長答弁】

ラグビーワールドカップ2019組織委員会が実施する公認チームキャンプ地選定プロセスでは、直接相手国に対し誘致の協議は禁止されており、大会前に行われている事前キャンプについて、トップリーグ2チームの関係者の紹介や当該国の大使館等を通じ、各国の関係者が来日した際には直接交渉をするほか、電子メールで交渉を進めてきた。

また、オリンピックについては、誘致に当たり取組を進めた結果、本年1月にオーストラリア野球連盟と事前キャンプに関する覚書の締結に至った。

また卓球も、友好都市ウィーン市ヘルナルス区との長年にわたる友好関係を生かし、現在もヘルナルス区とも連携し、視察等に向けた協議を続けている。

- Q** 【再質問】  
今後も引き続き、個別アプローチをしながら「おもてなし」の心で視察を受け入れる中で、キャンプ地の決定を目指すということですので、さらなる頑張りを期待する。

これまでの招致活動の中で、ラグビーではトップリーグ2チームの関係者の紹介や当該国の大使館等を通じて、電子メールでのやりとりを地道に進めてきた。まさに市民協働の一環として、トップチームとの連携は、これからもさらに強い絆を深めていただくことをお願いし再質問する。

- (1)キャンプ地に関わる会場施設整備の進捗状況について  
(2)キャンプ地として決定を確実にするためのトップセールス等の動きについて

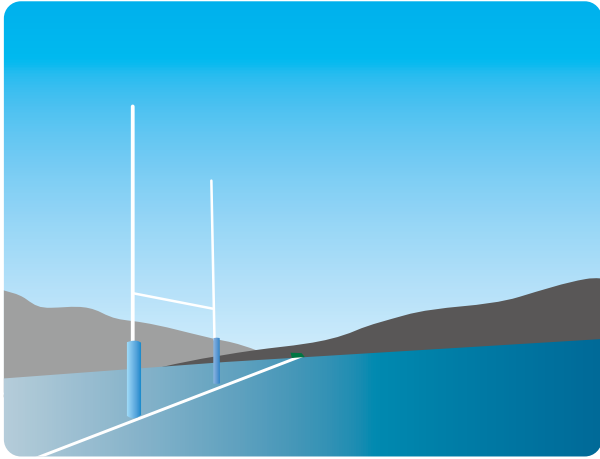
**A** 【部長答弁】  
(1)本市での「キャンプ地に関わる会場施設整備」を

図った施設は朝日サッカー場のみとなるが、整備状況については、昨年10月にグラウンド整備やフェンス工事並びにト

レーニング棟の増設を無事に終えた。

ラグビーワールドカップ関係の対応では、完成後の10月中旬に「ラグビーワールドカップ組織委員会」よりキャンプ地選考の一部として「天然芝のクオリティ調査」が実施された。

結果として、全体スコアが95%、18調査項目のうち、4段階評価で4のエクセレント評価が13項目、残りの5項



目は3のグッド評価を得ることができ、芝生全体の格付けでは、5段階評価の5をいただき「非常に高い国際標準である」と評価された。

また、昨年12月より順次、実地視察を開始しており、各チーム関係者からも現地においてグラウンド整備状況やトレーニング棟に対して良好な感触を得ている。

(2) これまでも、各国の競技関係者とコンタクトが取れた際には、市長が出向き、キャンプ地の誘致に係るプレゼンテーションを行う機会を設定している。先般キャンプが決定したオーストラリア野球連盟との協議においても、市長のプレゼンテーションに対して、その熱意を評価していただいたものとする。

現在、ラグビーについては公認チームキャンプ地の実地視察が行われており、市長も直接現地で対応しているが組織委員会との協議により、各国が検討段階に入っているものとする。

今後も、ラグビーワールドカップや7人制ラグビーの事前キャンプに係る誘致について、公認チームキャンプ地とあわせた新たな展開が生じた場合には、トップセールスも視野に入れ対応していく。

## 意見・要望

キャンプ地に関わる会場施設整備の進捗状況は、施設の調査結果も「非常に高い国際標準である」と評価され、昨年12月より順次、実地視察を開始し、各チーム関係者からも良好な感触を得ているとのことで、今後は、施設やグラウンドをトップチームと協力し、実際に使用して状況を確認することが必要である。

今後も利用しやすい施設整備とラグビーのみならず、野球場のスコアボード改修等も来年度予算に入っているので、投光器等キャンプ地決定後に必要な改修は、しっかり進めていただくことを要望するとともに、朝日サッカー場の改称についてもあらためて関係団体と調整しながら進めていただきたい。

キャンプ地として決定を確実にするためのトップセール

ス等の動きでは、ラグビーワールドカップ2019と東京2020の7人制ラグビーの事前キャンプ地、公認チームキャンプ地とともに受け入れ可能な範囲で、さまざまな競技について、さらにトップセールスを強気に進め、一生に一度の2つの世界大会のキャンプ地誘致を確実なものとするよう要望する。また、キャンプ地誘致活動については、これまでの状況や今後の計画等をまとめて市民にアピールする情報宣伝活動も必要である。さらに市民の理解を深め、どんな流れでキャンプ地誘致活動を進めているのかがわかりやすい広報紙のタイムリーな発行とちゅうばすへのスポーツタウン府中、ラグビーのまち府中、そして、キャンプ地誘致決定後の各国のPRラッピングバスの運行の実施を要望する。



## 府中市議会議員 清水 勝 プロフィール

1964年 山梨県北巨摩郡(現北杜市)生まれ  
1983年 山梨県立甲府工業高校卒/㈱東芝府中工場入社  
コンピュータ製造・試験・工程管理  
1994年～2015年  
◆東芝グループ連合・東芝労働組合役員/◆連合東京・連合三多摩・  
電機東京役員/◆府中市各種審議会委員 等を歴任  
2015年4月 府中市議会議員初当選(①2959票)  
◆東芝グループ連合・東芝労働組合顧問  
◆市議会(主な役職)  
2015年度 建設環境委員会副委員長/市庁舎建設特別委員会委員  
2016年度 文教委員会委員/市庁舎建設特別委員会副委員長  
2017年度 総務委員会副委員長/再開発対策特別委員会委員 等

■清水勝HP



■Facebook



■清水勝ホームページ  
<http://shimizu-masaru-fuchu.jp>

■Facebook  
<https://www.facebook.com/shimizu.masaru.fuchu>

お気軽に  
ご相談下さい

【連絡先】〒183-8511 府中市東芝町1番地 東芝労働組合府中支部内  
TEL.042-333-6890 FAX.042-319-1481 E-mail:shimizu.masaru.fuchu@gmail.com